令和４年度学校評価自己評

	中期経営目標（3年後を見据えて）	短期経営目標（今年度）	目標達成のための方策	評価項目・指標	目標値
確かな学力	主体的・対話的に深く学ぶ子 【ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】 【自己表現】	(1)学力向上 ①対話的な学びの充実 ②基礎基本の定着	① 対話を通して理解を深める授業を創造する。 ② 協調学習の研究・推進をする。	①②-a 国語の単元末テストにおいて平均通過率78点以上の児童の割合 ①②-b 町学力調査において，受験した全テスト中，全国平均以上のテストの割合	①②-a 80% ①②-b 75%
豊かな心	自尊心を高め，自己認識できる子 【自尊心】 【自己認識】	(2) ③相互に認め合える学級づくり ・自尊心の高揚 ・自己認識の高揚	③ 児童一人一人がお互いによさを認め合える活動を推進する。 ・縦割り班活動 ・行事 ・学級内での認め合い活動 ・外部講師の招へい ・体験活動の充実	③-a 児童質問紙の豊かな心に関する肯定的回答の割合 ③-b i-check（5月と2月）で自分を振り返る中で自尊心や自己認識に関する項目で肯定的回答の割合	③-a 80% ③- b 80%
健やかな体	体力向上・生活習慣の確立を図れる子。 【自己決定】	(3) ④体力・運動能力の向上 ・握力 ⑤生活習慣の確立	④課題種目に重点を置いた指導を展開・継続する。 ⑤生活習慣の実態を把握し改善を図る。	④-a 新体力テストの結果・分析から，課題種目を設定（全国・県平均値との比較） ④-b 評価方法を個人内評価とし，伸び率の割合 ⑤ 生活実態調査において，就寝・起床時刻が固定できた児童の割合	④-a 60% ④-b 60% ⑤ 70%
信頼される学校	地域とのつながりによる信頼される学校を構築する。 【中立性】 【公開性】	(4) 信頼される学校（評価と公開）	⑥ 保護者・地域へ本校教育活動を積極的に情報発信する。	⑥ 保護者質問紙「信頼される学校」に関する項目の肯定的回答割合	⑥ 90%
		(5) 業務改善	⑦ 勤務時間管理を行う。 業務の共有・整理，改善を行う。 職員のワーク・ライフ・バランスを推進する。	⑦-a 時間外勤務が月45時間未満の職員 ⑦-b 子供と向き合う時間が確保されていると感じる職員の割合 ⑦-c 日々の業務の中で充実感が得られている職員の割合	⑦-a 90% ⑦-b 90% ⑦-c 90%